

会 議 録 (概要)

会議の名称	第4回 佐渡市地方創生総合戦略策定・推進会議
開催日時	平成27年7月31日(金) 14時00分 開会 15時 閉会
場所	佐渡市役所3階大会議室
議題	<p>会議次第</p> <p>1 開会</p> <p>2 議題</p> <p>(1) 佐渡市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン及び「佐渡市まち・ひと・しごと創生総合戦略」について</p> <p>(2) その他</p> <p>3 閉会</p>
会議の公開・非公開	非公開
出席者	別紙出席者名簿のとおり
会議資料	<p>資料No.1 佐渡市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン(最終案)(概要)</p> <p>資料No.2 佐渡市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン(最終案)</p> <p>資料No.3 佐渡市まち・ひと・しごと創生総合戦略(最終案)(概要)</p> <p>資料No.4 佐渡市まち・ひと・しごと創生総合戦略(最終案)</p> <p>資料No.5 新旧対照表</p>

会議の概要（発言の要旨）

発 言 者	議 題 ・ 発 言 ・ 結 果 等
池田座長（新潟大学）	<p>1 開 会 2 議 題 (1) 佐渡市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン及び「佐渡市まち・ひと・しごと創生総合戦略」について 議題(1)について、資料No.1 から資料No.4 に基づき一括説明</p> <p>今回の会議は最終案の確認ということでお願いしたい。</p>
廣瀬（青年会議所）	<p>日本版DMOという仕組みがある。地域の素材を活用してどう提供していくのか。観光推進体制強化の観点からも検討が必要ではないか。</p>
池町総合政策監	<p>DMOについては、国の『まち・ひと・しごと創生基本方針』の中で、日本の観光振興を図る上で、各地域において検討することと記載されている。佐渡版のDMOの検討ということで、総合戦略に追加する。</p>
橋口（佐渡マスターズ）	<p>移住者の受入については、佐渡市全体で課題として取組んでいく必要がある。 課題に対してどのように対応するか期待をるところ。</p>
橋本（美）（両津の未来を考える会）	<p>この案をすべての市民に理解してもらいたい。</p>
丸山（第四銀行）	<p>案には賛成。あとは案のとおり達成できるかが重要。 K P I の達成の責任部署は決まっているのか。 達成へ向け責任を持って策を実行するため、責任部署を公表したらどうか。それをすることで達成への効果が高まるのではないか。</p>
池町総合政策監	<p>総合戦略をいかに施策で具体化して進捗管理をしていくことこそが重要である。 この推進会議は、今後もP D C Aの部分で関わっていただくことになるので、進捗状況は報告させてもらおう。 個々の K P I、数値目標についての責任はそれぞれの課で負うことになる。全体としての責任は市長、副市長、政策監ということで進</p>

	めていく。
柴原(中小企業家同友会佐渡支部)	17 ページ下部の『ものづくり支援センターを中心とした人材育成』とあるが、『島内企業などの人材育成』としていただきたい。ものづくり支援センターは、企業からの専門的な相談や技術面での助言等一体的な支援体制を確立するためのものである。島内企業の人材育成には結びつかない。
池町総合政策監	修正させていただく。
橋口(佐渡マスターズ)	移住定住の促進が大きな柱になるかと思うが、もう少し具体的な方策が示せないか。
池町総合政策監	新しいものを取り込めるよう幅広く読み取れる形で記載しているので、ご理解いただきたい。 施策の具体化の段階で橋口委員にご相談させていただく。
金子委員(佐渡小中学校PTA 連合会)	移住者を受け入れる側のケアをお願いしたい。
池田座長(新潟大学)	用語解説に佐渡学とあるが、教育に限定されるのか。 もっと総合的なものがあるのではないか。
越前社会教育課長	学習、全体的に生涯学習のことも入るので修正する。
廣瀬(青年会議所)	責任の所在という話があったが、行政側の責任もあるが、成果は市民に跳ね返ってくる。市民に総合戦略が広く知られるよう周知をお願いしたい。みんなで同じ方向に進まなくてはいけない。我々推進会議の委員も責任がある。この会議に参加している団体については、総合戦略を理解する必要がある。
池町総合政策監	今年度の、市長のタウンミーティングの中心は、この総合戦略になるかと思う。 タウンミーティング、市民向けのケーブルテレビでPRするというツールもあるので、ホームページに載せて終わりということのないようにやっていきたい。私自身、いろいろな団体から講演の依頼をいただいているので、そういう場でもやっていきたい。

橋口（佐渡マスターズ）	<p>各団体で報告をするのが先ではないか。 自分達が理解して、我々がこれを広めるということしなければならない。</p>
池田座長（新潟大学）	<p>お互いに汗をかく努力が大事である。</p>
柴原（中小企業家同友会佐渡支部）	<p>テレビでもインターネットでもよいが、日程を知らせた方が良い。 それを知らせる努力もできる。</p>
池田座長（新潟大学）	<p>皆様のご協力で素案を提示することができました。ありがとうございました。半世紀も前になりますが離島振興法というものができました。その策定した宮本常一という民俗学者がいます。この人が、観光というのは「光を観ることだ。光の当たらないところに光をあてることだ」と言いました。今日の最終案も観光ということが重要な要素になっているようです。どうか光の当たるような施策を事務局の方で進めていただければと思います。よろしくお願いします。</p>
副市長	<p>皆様方からたくさんの意見をいただきまして、今回は本当に実行できる施策ができたと思っております。この成果が実感できるのは皆さんだと思います。目標が達成した時にこれがすばらしい計画だったと思えるのは皆さんです。この後も、その検証をみなさんと実績並びに、考え方を模索しながら実行に結び付けていきたいと思っております。皆さんの組織の中で、個々にできることをそれぞれの立場で実践していくと力強いお言葉いただきました。我々もがんばっていききたいと思います。4回に渡ってありがとうございました。</p> <p>3 閉会</p>
その他	